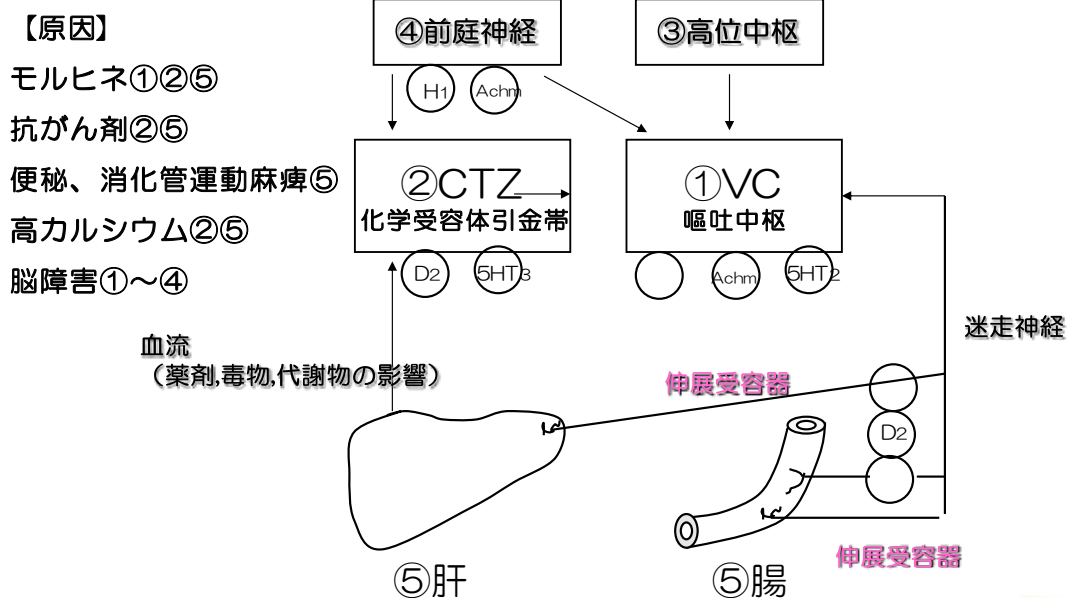


領域 5-1-10 消化器症状

消化管閉塞がないときのモデル

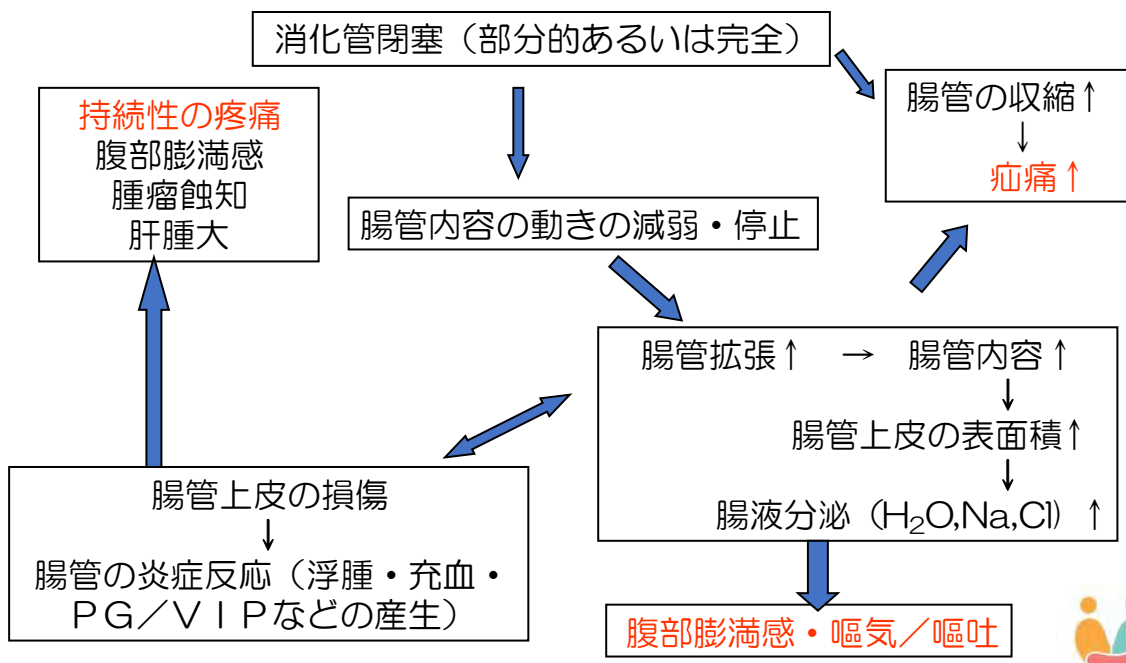


症状・病態と制吐薬の選択

臨床症状	病態	薬剤の種類
<ul style="list-style-type: none"> ・動くと悪化する ・めまいを伴う 	前庭神経の刺激	抗ヒスタミン薬
<ul style="list-style-type: none"> ・持続的な嘔気・嘔吐 ・オピオイド血中濃度に合わせて増悪 	化学受容体 (CTZ) の刺激	ドパミン受容体拮抗薬
<ul style="list-style-type: none"> ・食後に増悪 ・便秘 	消化管蠕動の低下	消化管蠕動亢進薬
<ul style="list-style-type: none"> ・蠕動痛がある 	消化管蠕動の亢進	抗コリン薬
<ul style="list-style-type: none"> ・原因が複数、もしくは同定できない 	複数の受容体	複数の受容体拮抗薬



悪性消化管閉塞の症状



悪性消化管閉塞のマネジメント

手術, ドレナーズの処置の使い分けは・・・

胃, 十二指腸での閉塞

原因 胃がん, 膵臓がん, 肝臓がん

薬剤 あまり効果が期待できない

手術 PEG (胃ろうから外に内容物を排出)

PTEG

消化管バイパス術

(ステント留置術)

処置 経鼻胃管=short tube, NG tube)

食道での閉塞

原因 食道がん, 肺がん

薬剤 効果が期待できない

手術 ステント留置術

バルーン拡張術

小腸, 大腸での閉塞

原因 大腸がん, がん性腹膜炎

薬剤 サンドスタチン

ステロイド

中枢性制吐剤

手術 消化管バイパス術

人工肛門造設術

(ステント留置術)

処置 経鼻胃管

イレウス管

個々の患者様の全身状態, 処置の侵襲度により選択する方法が異なる

腹水濾過濃縮再静注法の方法

(旭化成クラレメディカル(株) 説明書より引用 (監修加藤道夫))



C A R T 前 → 7000m l 採取 → C A R T 後
700m l 点滴戻し

